

日吉から見る交通近代化 1910-1940

— 綱島街道の形成を中心として —

要旨

氏名：中田康太郎

横浜市 of 東北部に位置する日吉周辺は 1926 年の東横線開業を転換点として、田園地域から交通結節点へ変貌を遂げた。東横線開業後の 1940 年頃には東横線と並行して綱島街道が整備された。東横線の建設が開始された 1910 年頃から、綱島街道が整備された 1940 年までの期間に日吉周辺の近代的な交通網は確立された。

本論においては日吉周辺における近代的な交通網が確立された過程を明らかにする。形成過程が不明瞭な綱島街道の形成を中心として 1910 年～1940 年頃に着目する。また、その過程を通して日吉周辺における交通網形成に伴う変化を明らかにし、地域の開発史理解の基礎とする事を目的とする。

日吉周辺の地域における交通網の変遷について体系的に述べた文献は見つけれない。その為、文献から情報を抽出し組み合わせた。文献に存在する不正確な情報を訂正する様に、地形図・航空写真・雑誌記事などから情報を抽出し再構成した。

調査の結果、1939 年頃には丸子～日吉～綱島の綱島街道が開通していた事が判明した。日吉では 1910 年～1940 年の時代に近代的な交通網が整備され、地域を近代化した。これにより現代に繋がる地域の特性・地域間の関係性が確立したと考えられる。今後は追加調査による綱島街道の開通時期の正確な特定、他地域との比較が望まれる。